（別紙4（2））

事業所名　グループホームあおぞら

作成日：平成　30年　5月　14日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	一部の入居者の行動への安全面の配慮の為、玄関について内側からは自由に開けることができない。	玄関から自由に出入りできる。	自由に外に出られる時間帯を決め、見守りや付き添いの強化を行う。	1ヶ月
2		月1回のミーティング、3ヶ月毎の評価等で職員間で意見交換をし、また家族からの要望を聞いて介護計画を作成され、現状に即した計画になるように努められている。しかし、記録の整備と職員周知はこれからである。	介護計画の職員周知と記録の整備を行う。	状態の変化や介護計画書の見直しに関して、計画作成担当者、当該入居者担当者、他の介護職員全員の共通の認識を図り、記録の整備統一を図る	6ヶ月
3		外出頻度が少ない	外出頻度を多くする。	計画的な外出計画の作成と状況に応じた外出ができるようにする。	1ヶ月
4		年2回火災を想定した避難訓練が消防署職員や消防団が参加されて実施されているが、火災以外の災害対策はこれからである。	火災以外にも災害対策マニュアルに則した訓練を行う	避難訓練計画を立て避難訓練の実施	6ヶ月
5		職員の声が十分に運営に反映されていない。	職員の意見を聞く場を増やす	職員によって、意見が言える人言えない人が居るので、それぞれの声がくみ取れるように工夫する。	6ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。